



目 次

大学図書館に思うこと(和田 敬四郎).....	2
資料の探し方 ~必要な資料を入手するために~	4
金沢大学で利用できる電子ジャーナル, 二次資料データベース一覧	8
図書館のトピックス	10
論文説明会, 電子ジャーナル説明会, 馳文部政務官来館, 留学生オリエンテーション, 防火訓練, 北信越国立大学 図書館研修会, 角間の里山展, 南京大学図書館員来館, 薬学部図書室移転, 暁烏敏自筆書画など表装, 補修	
第55回金沢大学暁烏記念式・記念講演(案内).....	12
としょかん日誌(2003年12月~2004年2月)	12
総合科目「大学図書館への招待」開講案内	12



(玄関ロビーで開催された角間の里山展)

大学図書館に思うこと

和田 敬四郎

私のような単なる図書館のユーザーだった素人が図書館長を拝命したのはちょうど4年前のことである。何もわからずに、まず勉強したのが図書館学入門(藤野・荒岡, 1991)だった。その中に「多くの大学図書館では定年前の教授が館長になり、何もわからぬままに去って行くのが通例だ」と書いてあった。まさに図星である。「そうはならないぞ」と心に密かに決め、図書館学ならぬ、図書館見学に励んだ。アポを取ることもなく、実際に出掛けて行って、見て歩くだけで十分勉強になる。手始めは県立図書館や市立の玉川図書館、それに泉野図書館。他の大学図書館もいくつか学会等を利用して見学した。単なるユーザーとしてではなく、これから図書館の運営に当たらねばと思うだけで、違うものが見えてくるような気がした。外国に出掛けるときも、必ず訪ねた先の大学の図書館に前もって連絡しておき、見学をさせてもらった。英国のバーミンガム大学図書館、ダラム大学図書館(アポに答えてくれなかった)、ノルウェーのオスロ大学図書館、オーストラリアのクイーンズランド大学図書館等々である。外国のこのような大学図書館は規模も大きく、金沢大学の図書館など足元にもおよばない。予算額も大きく、職員数も比べものにならない。図書館の予算が、大学の総予算額の何%かを聞くことにしている。私の訪ねた大学では人件費を含めておおよそ2~4%だった。先進諸国の文教予算が国家予算の1%以上なのに、日本の文教予算は0.5%。それと同じことが金沢大学でも言える。しかしながら、世界中どこの大学図書館も程度の差こそあれ、我々と変わらない悩みを抱えていることだけは理解できた。人員不足に資金不足、さらには学術雑誌価格の高騰である。

金沢大学図書館は金沢なりの解決法を探らねばならない。書架を眺め歩いて、一番

不足していると感じたのが学生図書のようにだった。特に新しく購入された書物が少ないようだ。1年間の学生用図書費は文部科学省から来る分を除くとわずか700万円余ほどであった。全国の国立大学を調べてみても、これだけ少ないところは恥ずかしながらX大学以外になかった。早速、学生用図書としてこれくらいは必要ですという購入希望の書籍リストを作り、財務委員会への要求案とした。総額は1億円を超えるものだったと思う。おそらく「何を常識はずれなことを」と思われたことだろう。各部局長当ての手紙も書いた。金沢大学ともあろう大学でこんなことでよいのだろうか。この手紙は実際には配布されないまま、私の手元で眠っている。ありがたいことに、年度末に余った経費を回してもらえようになり、かなり充実させることが出来た。訴えがそれなりに認められたものと思う。

次は電子ジャーナルの問題である。5~6年前から学術雑誌出版業界の寡占化が進行し、大手出版社によって開発された雑誌の電子化が急激に進んできた。電子ジャーナルの購入については図書館はさらに弱い立場にあった。それは現状では電子ジャーナルの価格が冊子体をベースにしたものであり、冊子体の購入・キャンセルは学科や教室で決められ、図書館には全く決定権がないからである。4年前から、国立大学図書館協議会の中に設けられたタスクホースの活動により、コンソーシアムが構築され、それに呼応して文部科学省も動いてくれ、電子ジャーナル(データベースを含む)を買うための費用が一部予算化された(学生図書経費の削減が同時にあり、その関係が取りざたされた)。多くの大学では、それに大学独自の資金を上乗せし、多くの電子ジャーナルの購読を可能にした。この点でも金沢大学は後れをとっている。来年度のE社の電子ジャーナル(フリーダムコレクシ

ョン)の導入に失敗した。これはまさに館長の責任だと感じている。まだ教官のなかには、冊子体の雑誌を読むことの方がいいと考えている向きもあるようだ。しかし最近の動きでは、情勢が変わりつつある。米国のハーバード大やコーネル大の図書館でE社のジャーナルを大量にキャンセルするというのである。この動きは全米でかなりのニュースになっているようだ。金沢大学の図書館は周回遅れのトップを走ることになったのではないだろうか。しかしこれからは、図書館の狭隘化の問題や複数の利用者が同時に利用できる点などを考慮すれば、バックナンバー利用権の問題は未解決ではあるものの、電子ジャーナルの導入は避けて通れないだろう。電子体を基本とし、必要ならば冊子体を購入するという新しい価格体系が作られ、必要なものがもっと導入されることを期待する。昔の大学図書館には、仕事をしているのか、していないのか、なんとなくうろろしている職員が何人もいたという話を聞いたことがある。この人たちは遊んでいたわけでもなく、せっせと図書館の資料を整理し、資料を分析し、研究し、図書館の隅々に至るまで知り尽くしていて、いざというときには大いに役に立っていたのである。図書館のヌシともいべき人たちである。このような人材は余剰

人員と見なされ、ほとんどが削減され、現在ではどこを探してもいない。このような人たちの仕事が無くなったわけではない。いずれの大学図書館でも、おそらく積み残されたままになって、誰にも分からない、誰も手を着けない資料や仕事が山積みされていることだろう。これらは隠れた宝物かも知れない。どのように活かせばよいのか、いまだ私に名案はない。金銭的な効率化だけでは解決できない問題を、どのように解決していくかが今後求められよう。

全国的に読書離れが取りざたされる中、学生諸君に出来るだけ書物を読んでもらうために一計を案じた。入り口近くに「館長お勧めの1冊」コーナーを設け、分野を問わず、「これは学生さんに読んでもらいたい」という書物を短い推薦文と共に並べた。貸出率が高いと聞き、密かにうれしく思っている。1年あまりの間に推薦した書物は10冊あまりである。多忙な合間を縫って私自身がせっせと読んだ思い出は忘れないだろう。図書館を中心とした出会いの場が作られ、そこに人が集まれるようになって欲しい。

大学図書館に学生用図書や参考図書がたくさんあり、多くの電子ジャーナルやデータベースも揃えて、きめ細かいサービスしてくれるスタッフが多い方がいい。開館時間も長い方がいいし、日曜日も開館している方がいいに決まっている。しかし、現実にはむずかしい。このような問題こそ現状を分析して、最も経済的な線を探さねばならない。しかしながら理想に向け一歩でも前進できるように、よりよい大学図書館にするために努力しなければならない。国立大学法人がスタートする時期、なおさらだと感じている。

この時期にこのような文章を書かせていただけることに大変感謝している。4年間のことを忌憚なく書かせてもらった。不適切な点があればお許し願いたい。

(前附属図書館長)



「館長 お勧めの一冊図書コーナー」

資料の探し方 ~ 必要な資料を入手するために ~

図書館では紙媒体の図書や雑誌を提供するほか、インターネットを介したデータの提供も行っています。一口で資料といってもいろいろあり、またその探し方も数多くありますが、今回はデータベースを中心に図書館が提供する基本的な資料探しの方法を紹介します。

図書・雑誌を探す

(1) 金沢大学の所蔵資料を探す

せっかく金沢大学にいますので、金沢大学にある資料を活用したいですね。そのときに役立つのはOPAC(Online Public Access Catalog)= 金沢大学蔵書検索システムです。

OPACを使うと、金沢大学に本や雑誌があるか、あった場合はどこにあるかということを探ることができます。金沢大学では1988年度から電算化を開始したため、1988年度以降に受入れた図書はOPACで検索可能です。また、順次遡及業務もすすめてきており、中央館、医学部分館、工学部分館、薬学部図書室、保健学科図書室内にある図書はほぼ検索可能です。雑誌に関しては4年サイクルで調査を行っているため、研究室も含めた全学所蔵分がOPACで検索できます。

OPACは本のタイトルの一部しか覚えていなかったり、だいたいこんな内容の本を読みたいと思ったとき、著者しかわからないといった場合にも検索に威力を発揮します。

ただし、金沢大学は古い歴史を持つ大学ですから、OPACに収録されていない図書がまだまだたくさんあります。これらを探す場合はカード目録や冊子体目録で調べる必要があります。カード目録は中央館に備え付けられています。冊子体目録は中央館他で所蔵しています。



OPAC (簡易検索画面)
<http://www2.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

(2) 全国の大学図書館や地域の公共図書館などの所蔵資料を探す

金沢大学にない図書や雑誌が必要なことがあります。この場合、図書館間相互協力サービス (ILL^{アイエルエル}) というサービスによって、他大学・図書館の図書を借りたり、論文の複写を取り寄せることができます。もちろん相手方の図書館によっては直接出向いて閲覧することも可能です。図書館では次のようなデータベースをよく利用します。



Webcat (検索画面) <http://webcat.nii.ac.jp/>

ウェブキャット
Webcat

全国の大学図書館を中心とした蔵書検索システムのことで金沢大学もちろん参加しています。

ウェブキャット プラス
*Webcat plus 和書を中心に「Webcat」の検索機能にプラスしてテーマに関連する情報を探し出す「連想検索機能」があるほか、目次やカバーなどに書かれた内容の情報を見ることができます。

エヌディエル オーバック
NDL - OPAC(<http://opac.ndl.go.jp/index.html>)

国立国会図書館の蔵書検索システムです。事前に登録すれば、個人でもネットワークを介して図書を借りたり、論文の複写を依頼できます。

石川県立図書館, 金沢市立図書館, 各大学図書館など個別の蔵書検索システム

図書館を通して本を借りようとするとしても時間がかかります。県立図書館や市立図書館で所蔵していたら直接行って見たいと思ったとき、また帰省時に勉強したいと思ったときなどにもピンポイントで検索できます。

石川県図書館横断検索システム http://www3.library.pref.ishikawa.jp/ishikawa_top.html

雑誌論文を探す

(1) 日本語の論文を探す

日本語の論文を探すときにまずおすすめしたいのが「雑誌記事索引」です。国立国会図書館が作成している索引誌で、学術雑誌を中心に分野に偏らず網羅的に国内の論文を検索できます。金沢大学では他のデータベースと組み合わせた次の2つの方法で、学内LANに接続しているパソコンから利用できます。

ナクシス アイアール
NACSIS - I R

国立情報学研究所が提供する検索システムで、上記雑誌記事索引のほか、経済学文献索引データベース、家政学文献索引データベースなどの索引誌や、国立国会図書館科学技術欧文会議録データベースなどの目録、あわせて約40種類のデータベースを検索することができ、所蔵情報はWebcatへ連動しています。



(NACSIS-IR機関別定額制の入口)

マガジン プラス
MAGAZINE - PLUS

NICHIGAI社が提供する検索システムで、学術雑誌中心の雑誌記事索引のほか、一般誌の目次検索も可能なジャーナルインデックスを含めて検索できます。所蔵情報は金沢大学OPACへ連動しています。

もちろん、作成元の国立国会図書館も、さきに紹介したNDL - OPAC上で公開していますので、こちらは自宅からでも利用できます。

このほか、医学中央雑誌Web版（医学関係論文の索引誌）なども提供しており、いずれも図書館ホームページからリンクされています。

(2) 外国語（主に英語）の論文を探す

英語の論文を探すツールは数多くあります。Elsevier Science Directなど出版社が自社の出版物を対象にしているもの、^{エルゼビア サイエンス ダイレクト} SwetScanや^{スエツスキャン インジェンタ}Ingentaのように分野を問わず幅広く検索できるものもあれば、^{メドライン}Medlineや^{エリック ケミカル アブストラクト}ERIC、^{エブスコホスト}Chemical Abstractsのように分野・主題別のデータベースもあり、さらにこれらのデータベースを横断的に検索できるEBSCOhostといったものもあります。9ページにまとめて紹介してありますのでご覧ください。学内LANに接続しているパソコンから利用できます。



(SwetScan検索画面)

このほか金沢大学で利用できるデータベースは図書館ホームページからもリンクされています。

電子ジャーナル



(図書館ホームページからのリンク)

さらに近年はパソコンの画面上で、論文自体が読めるサービスが増えています。これは従来の論文検索 雑誌の所蔵確認 図書館へ出向いて冊子体を閲覧、あるいは複写依頼という行程を省略し、検索 閲覧がコンピュータ上で可能なものです。現在金沢大学で利用可能なものは8～9ページにまとめて紹介しています。

日本語の論文は少し立ち遅れていますが、学協会誌を中心に^{ナクシス イーエルエス}NACSIS - ELSというサービスがあります。このほかにも無料で提供されている

ものもたくさんあり、今後この電子ジャーナルという形態が増えることは確実です。

新聞記事を探す

最後に新聞に掲載された記事の探し方を紹介します。金沢大学で提供しているのは、次の5種類です。中央館備付のパソコンから検索可能です。

朝日新聞DNA

1984年8月以降の記事検索と全文（著作権処理の済んでいるテキストのみ）が閲覧できます。



(朝日新聞DNA検索画面)

CD-HIASK

朝日新聞1985年～1995年の本文と見出しからの記事検索が可能です。

朝日新聞戦前紙面データベース

昭和元年～20年までの記事を紙面そのままのイメージでデータベース化したもので、記事本文のキーワードと見出しから検索できます。

CD-毎日新聞

毎日新聞の1993～2001年の本文と見出しからの記事検索が可能です。

読売新聞

明治（明治7～）、大正、昭和（～昭和20年）までの記事を紙面そのままのイメージでデータベース化したもので、本文と見出しから検索できます。

以上、基本中の基本といえるものを紹介しましたが、この分野は日々情報が更新されていきます。図書館ホームページでは最新情報を案内していますのでご覧ください。また、「雑誌目次集成」や「文献解題」などの従来どおりの紙媒体の世界も、まだまだ私たちに重要な手がかりを与えてくれます。いろいろな手段を組み合わせず自分の求める情報を入手してください。

図書館ではこれらのデータベースを使った説明会を開催していますので、ぜひご参加ください。

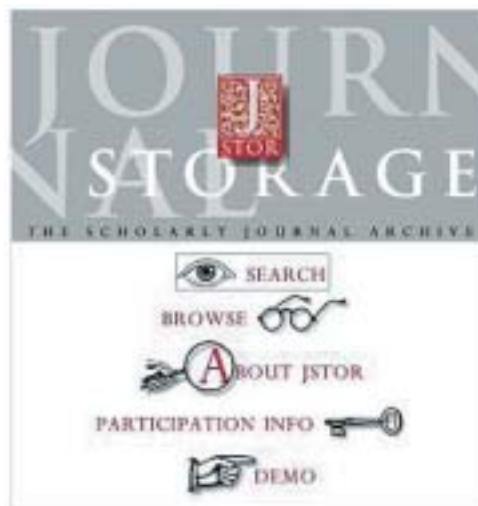
図書館ホームページ <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

金沢大学で利用できる

電子ジャーナル，二次資料データベース一覧

金沢大学では学内のパソコンの上で学術雑誌の全文を読むことのできる電子ジャーナルや論文の書誌情報・抄録などを検索できる二次資料データベースを導入しています。その中から，附属図書館予算（一部，各部局の予算と按分負担）で導入しているものについて，ご紹介しましょう。いずれも図書館ホームページから利用できます。

（以下のリストには冊子体雑誌に附属している電子ジャーナル，部局予算で導入している電子ジャーナル等は含んでいません。）



（JSTORのエントランスページ）

1．電子ジャーナル・パッケージ

名称	内容・分野	タイトル数
Science Directサブジェクト・コレクション (Life Science)	Elsevier社の提供するライフサイエンス系の電子ジャーナルを集めたパッケージ。分野：ライフサイエンス	394
Science Directリミテッド・コレクション	Elsevier社の提供する電子ジャーナルの中で個別に購読をおこなっているもの。 分野：ナノテクノロジー(2誌)，情報通信(7誌)	9
Blackwell SSH	Blackwell社の提供する人文・社会科学系の電子ジャーナルのパッケージ。分野：人文・社会	291
JSTOR Arts & Science 1	人文科学を中心に数学，経済学，政治学，環境学，教育学など幅広い分野のバックナンバーを電子ジャーナル化したパッケージ。分野：全分野	117
Springer Link	Springer社の発行している全電子ジャーナルのパッケージ。分野：全分野	433
ACS Web Editions	ACS(American Chemical Society)の提供する電子ジャーナルのパッケージ。分野：化学	30
APS-ALL Package	APS(American Physical Society)の提供する電子ジャーナルのパッケージ。分野：物理学	8
AICHe Package	AICHe(American Institute of Chemical Engineers)の提供する電子ジャーナルパッケージ。分野：化学	7
Nature	Nature Publishing Groupの提供する電子ジャーナル。Nature, Nature Biotechnology, Nature Materialsの3誌。分野：自然科学	3
合 計		1,292

2. 電子ジャーナル(個別契約)

Europearn Journal of Law and Economics(Kluwer).

Journal of Law & Economics(University of Chicago Press).

Cell(Cell Press).

Journal of Biological Chemistry(American Society for Biochemistry and Molecular Biology).

Molecular Cell(Cell Press).

Neuron(Cell Press).

ProNas(National Academy of Science of the United States of America).

Science(AAAS).

3. 二次資料データベース

名称	説明	提供形態
SwetScan	外国雑誌の目次情報データベース。収録範囲：1996年～現在。分野：全分野。	Web(図書館サーバー)
NACISIS-IR機関別定額制	国立情報学研究所提供のオンライン・データベースシステム。分野：全分野。	Web
MAGAZINE PLUS	日外アソシエーツ提供のデータベース。	Web
PsycINFO	心理学関係のデータベース。附属図書館および心理学関係の研究室でつかえます。	Web(特定端末)
Sociological Abstracts	社会学関係のデータベース。ERIC, Social Services Abstractsを併せて検索することもできます。	Web
Social Services Abstracts	社会事業に関するデータベース。Sociological Abstractsとデータは重複しません。	Web
ERIC	教育学関係のデータベース。	Web
判例マスター	判例情報のデータベース。1947年以降。	CD-ROMサーバー
CA12 & 13 th Index	Chemical Abstractsの1987年～1996年刊行分の累積索引。	CD-ROMサーバー
医学中央雑誌	国内で発行された医学, 歯学, 薬学関係のデータベース。	Web
MEDLINE, PreMEDLINE	米国医学図書館作成の医療文献データベース。同時アクセス2人まで。	Web
EBMR	EBM(科学的根拠に基づく医療“Evidence-Based Medicine”)実践を目的としたデータベース。同時アクセス2人まで。	Web
CINAHL	看護学文献全般についての包括的なデータベース。“Cumulative Index to Nursing and Allied Health Literature”に対応。同時アクセス2人まで。	Web

図書館のトピックス



論文説明会,電子ジャーナル説明会

春季に引き続き,2ヶ月にわたり1週間に1時間の説明会を,また,昼休みの説明会も論文検索に重点をおいて3週間にわたって開催しました。どちらも少人数を対象に行いましたが,実習の時間が足りないほど熱心な参加者が多く,アンケートの結果からも「参加してよかった」という感想がほとんどで概ね好評を得ました。ゼミ単位での説明会は1回にとどまりましたが,秋季としては総計23回の開催で54名の参加がありました。参加者からは今後の継続を望む声もあり,来年度も継続して行う予定ですが,図書館に足を運ばない学生への周知など,参加率の引き上げが今後の課題です。(参考調査係)



馳文部科学大臣政務官が来館 10月6日(月)館内を視察



留学生オリエンテーション 10月9日(木)後期入学者多数が出席



防火訓練 11月6日(木) 利用者の参加協力を得て実施



北信越国立大学図書館研修会 11月10日(月)~11日(火)



角間の里山展 11月20日(木) ~12月10日(水)自然と市民との ふれあい活動写真パネル等が展示された



南京大学図書館員2名が来館 11月20日(木)



薬学部図書室が移転しました。

平成16年3月，薬学部が宝町キャンパスから角間キャンパスに移転しました。これに伴い，自然科学系図書館オープンまでの約1年間，薬学部図書室は総合研究棟 の薬学部実習準備室2 (1B122)，終夜・耐压実験室 (1A133)，及び総合研究棟 のファカルティホールの3室を利用して開室することになりました。ファカルティホールには図書，薬学部実習準備室 2 (1B122) には雑誌，終夜・耐压実験室 (1A133) にはChemical Abstractsが配架されます。なお，ファカルティホールにサービスカウンターがおかれますので，不明な点はお尋ねください。



(写真は，移転作業中の様子)

暁烏敏自筆書画など表装，補修しました。

今年度，財団法人田嶋記念大学図書館振興財団の助成金により，大橋和臣氏寄贈の暁烏敏自筆の書および画30点余を軸装，額装にすることができました。さらに，自筆原稿の修復や清沢満之像の修復もおこなうことができました。



(大正13年春)

人有至心精進求道不止会当剋果何願不得



(大正13年秋)

善男子汝若能登此刀山投火聚者菩薩諸行皆悉清淨



(大正14年)

一本のつつじの花をふたりしてうつしくらべて遊びけるかな

第55回金沢大学暁烏記念式
・記念講演

日時：平成16年4月29日（木）
午後1時30分～3時30分
会場：金沢大学サテライトプラザ
（金沢市西町3番丁16番地
金沢市西町教育研修館内）
記念講演：
「聖なるものを求めて ある日本人僧
と現代インド仏教運動」
講師 島 岩
（金沢大学文学部教授）

としょかん日誌

（2003年12月～2004年2月）

- 12月8日 第16回国立大学図書館協議会シンポ
～9日 ジウム（神戸大学）橋美穂（工学部分館
図書係長）参加
12月19日 Global ILL Framework(GIF)と画像伝送シ
ステムの活用研修（京都大学）村田勝俊
（相互利用係長）参加
12月26日 年末年始の休館
～1月4日
1月22日 平成15年度国立大学附属図書館事務部長
会議（名鉄トヤマホテル）山下洋一（事
務部長）出席

今年度も開講します！

総合科目「大学図書館への招待 - みずから学ぶ, 図書資料を楽しむ - 」

図書館では主に1,2年生を対象に、今年度も総合科目を開講します。前期15回で2単位、定員は60名の予定です。

資料についての講義や、コンピュータを使う実習、図書館の資料を使って調査する演習、図書館自体をどうやって利用するかなど、図書館についての幅広い内容です。過去の受講生からも受講がその後の学習・研究に役立ったという声が多く寄せられています。

- | | | | |
|-----|--------------------|------|--------------------|
| 第1回 | はじめに - 大学図書館の役割 | 第8回 | 附属図書館医学部分館・工学部分館案内 |
| 第2回 | 附属図書館オリエンテーション（見学） | 第9回 | 歴史資料のおもしろさ |
| 第3回 | 図書館の上手な使い方 | 第10回 | 工学系研究における図書館利用法 |
| 第4回 | 学術情報と大学図書館 | 第11回 | 科学史研究と図書館 |
| 第5回 | 気の利いた情報システム | 第12回 | 金沢大学の蔵書 |
| 第6回 | 学術情報の探し方(1) | 第13回 | 論文・レポートの書き方 |
| 第7回 | 学術情報の探し方(2) | 第14回 | 学術情報と研究評価 |
| | | 第15回 | まとめ |

金沢大学附属図書館報「こだま」第153号

発行：金沢大学附属図書館 編集：広報委員会

2004年4月1日発行

〒920-1192 金沢市角間町 電話(076)264-5200

印刷：活文堂印刷株式会社

ホームページURL <http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp/>

電子メールアドレス etsuran@kenroku.kanazawa-u.ac.jp

読者の皆様からのおたよりをお待ちしております。

表題地模様 ©Toku Yusui(加賀友禅染絵『さやぐ, おどる』。由水十久(初代。1913 - 1988)は金沢出身の加賀友禅作家です。)